

西濃農林事務所の普及活動状況

平成27年12月24日現在

今月の重点活動

■新規就農者の確保 管内農業の現地巡回学習会

12月4日に、農業高校生の地域農業への興味・関心を高め、将来の地域農業の担い手確保・育成を目的に、県立大垣養老高等学校の学生を対象とした現地巡回学習会を開催した。生産科学科を中心とする希望者21名が、管内の各品目（花き、土地利用型、肉用牛、野菜及び6次産業化）の先進経営体を視察した。経営者から経営内容の説明等を受け、施設内を見学。質疑応答もあり、先進の企業的農業経営の実態を肌で感じていた。



【大規模施設（牛舎）を見学】

この学習会をきっかけとして視察先経営体へ就農した卒業生もおり、参加学生の、就農に向けた今後の意識改革に期待したい。

活力ある新産地づくり

■ブロッコリー 暖冬による出荷前進、収穫体験の実施

今年度は、天候不順により定植時期が例年より遅れたものの、11月以降、温暖な気候が続いていることにより、12月上旬までの出荷量は14,260ケース（前年比104%）となっている。12月中旬以降も気温が高く推移していることから、年明け出荷予定であったブロッコリーも年内出荷に前進する見込みであり、各生産者は収穫に追われている状況にある。



【小学生収穫体験の様子】

12月16日に、JAにしみのブロッコリー生産協議会大垣部会の食農活動として、青墓小学校3年生75人を対象に、ブロッコリー収穫体験が開催された。収穫前に、農業普及課から、特徴、栽培方法、ぎふクリーン農業等について説明を行い、子供たちは、大きく育ったブロッコリーを収穫した。収穫後には、JA青墓支店女性部によるブロッコリースープなどの試食があり、ブロッコリーの栄養などの説明を受けた。

売れる農畜産物づくり

■大豆 現地検討会の開催

フクユタカ（大豆）は、海津市では平年よりやや早めの11月22日から収穫が始まり、他地域でも雨間をぬって収穫作業が行われている。収穫進捗状況は、昨年よりも早く進んでおり、12月18日現在で約8割となっている。今年の大豆は、8月中旬～9月上旬（開花期）にかけての多雨・日照不足や台風等の影響により湿害が発生し、着莢数が少なく（落花・落莢）、青立ち（莢先熟）がやや多くなっている。

■小麦 良品質小麦の安定生産（播種及び生育状況）

西濃地域の小麦播種状況は、天候不順により遅れていたが、「イワイノダイチ」は10月16日～11月25日、「さとのそら」は10月30日～12月10日、「農林61号」は10月31日～12月10日の期間でほぼ終了した。早く播種した小麦は平年より生育が進んでいるが、11月中旬以降の播種では、多雨による冠水・湿害で出芽・初期生育がやや遅れているところがある。今年の12月は異常な高温で推移したため、小麦の生育への影響（早期茎立ち

による凍霜害) が心配される。

■ 白ねぎ **目揃会の開催**

12月2日(水)に垂井南ライスセンターでねぎ目揃会が行われ、不破管内の白ねぎ生産者5名が出席した。各生産者が持参したねぎを使い、JA全農担当者が出荷規格について説明した。生産者は説明に対し熱心に耳を傾け、質疑応答も活発に行われた。農業普及課からは収穫作業のポイントと雪対策について資料を用意し説明した。出荷は12月7日から月・水・金の週3日で行われる予定である。



【出荷規格説明の様子】

■ 春菊 **栽培支援**

12月に入り春菊は日量200ケースを超えて出荷され、単価も年末需要から11月の約35円/袋から徐々に上昇している(12/13時点で94円/袋)。一方、気温が平年より高い影響から出荷物の品質維持が課題となっているため、病虫害防除および施肥等の栽培管理指導を行った。また、今作の春菊は3品種が作付けされているため、現在の各品種の生育状況の聞き取りを行い、次年度への品種選定への支援を行った。

■ きゅうり **抑制裁培反省会の開催**

12月15日に抑制裁培反省会が開催され、農業普及課から、キュウリ黄化えそ病に関わる調査結果と対策、きゅうりハウス土壌の物理性、化学性調査結果等について説明した。今年の黄化えそ病発病株率は5.3%と昨年より多くなった。外のアザミウマ数が昨年より多かったことと後半も暖かく虫が増殖しやすかったことが要因と考えられる。侵入防止対策の更なる拡充とハウス内で増やさないことについて再度徹底するよう指導を行った。反収は前年並みで、天候の変動が大きい年であったがまずまずであった。12月上旬までの販売実績(対前年)は、数量:101% 金額:97% 単価:95%である。

■ 柿 **剪定講習会の開催**

南濃選果場の柿の選果は12月15日に終了し、各生産組合で剪定講習会が開催された。南濃柿部会ではこれまで平日開催であった研修会を12月20日の日曜日に開催し、兼業生産者の出席を容易にした。養老果樹振興会では12月23日にモデル園で開催した。農業普及課は、高接ぎ園での品種特性の低下、「ねおスイート」導入の際の苗木生産等に関する情報提供を行った。



【剪定講習会の様子】

多様な担い手の育成・確保

■ 西南濃地区農業婦人クラブ **梅剪定研修会、メ縄づくり研修会実施**

西南濃地区農業婦人クラブは、昨年度につづき「梅剪定研修会」を11月30日に実施した。座学と実習を行い、農業普及課が会員の質問に答えながら指導を行った。昨年度の研修後の各会員宅での実践結果の報告もあり会員の意欲も伺えた。

また、12月4日には、ふるさとくらしの大使(大垣市)から、メ縄づくりについて技術伝達研修を各グループ役員を中心に実施した。



【メ縄づくりの様子】